

2月11日(土)

第1会場

15:00~16:30 MEセッション

メインホール

【概要】

近年、植込みデバイスの飛躍的な技術向上、植込み手技、フォローアップの向上により、高年齢の植込み患者が増えてきた。また、患者の高齢化に伴い合併症を併発することも多くなってきているのが現状である。そこで今回のMEのセッションでは、臨床工学技士がデバイス業務として行なう患者指導の中でスマートキーシステム等の新しい電磁障害等も出ている為に「新たな電磁障害の種類と対応」と題して豊島健先生に日常生活で注意すべき点、就労、就学等における配慮すべき点、その対処方法について講演を頂く予定である。次にデバイス植込み患者の一面として心理面でのケアも重要である。患者の内面的症状を理解して治療に当たらなければいけないことから「デバイス患者のメンタルヘルスケアの現状と対応」と題して杏林大学副島京子先生に講演を頂く。最後に高齢者は身体の老化に伴い不慮の転倒・転落が頻繁に起きており、安全性を考慮して治療を行わなければならないことが現状である。そこで「手術・外来フォロー時の高齢者デバイス患者への配慮と工夫」と題して産業医科大学河野律子先生に講演を頂き、安全な配慮の方法や工夫、日帰り手術の導入を紹介して頂く。以上の内容でMEセッションを構成して、現在デバイス業務を行っている施設の臨床工学技士のために経験豊富な先生方の貴重な講演が、明日からの安全で良質な医療の提供が出来る環境の礎になってほしい。

〔座長〕 綿引 哲夫 横浜市立脳血管医療センター臨床工学室  
佐藤 邦昭 熊本大学医学部附属病院ME機器センター

1. 最新の電磁干渉情報とその対応

USCIホールディングス株式会社CRDMビジネスユニット ○豊島 健

2. デバイス患者のメンタルヘルスケアの現状と対応

杏林大学医学部附属病院循環器内科 ○副島 京子

3. 高齢者デバイス患者への配慮と工夫：日帰り手術の有用性

産業医科大学循環器内科 ○河野 律子